

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業の実施状況

実施計画掲載No.	事業名	担当課	決算額(千円)	財源内訳				主な経費	事業実績	成果・効果検証
				国県支出金	地方創生臨時交付金	その他	一般財源			
1	新型コロナウイルス感染症対策学生支援事業	まちづくり推進課	13,451		13,451			○新型コロナウイルス感染症対策学生支援事業 13,400,000円	市内の高等教育機関へ通う学生に対し、浜田市共通商品券(10,000円/人)を配付した。 交付者数 1,340人	新型コロナウイルスの影響による学業や生活の不安の軽減に資することができた。 ○交付率:99.3%
2、19	新型コロナウイルス感染症対策事業(防災諸費)	防災安全課	32,624		32,624			○避難所用間仕切り等購入 13,423,960円 ○避難所用換気設備等購入 1,235,520円 ○避難所用簡易ベッド等購入 1,011,725円 ○非接触式体温計等購入 1,285,133円 ○庁舎窓口に飛沫防止パーテーション購入 3,012,570円 ○テレビ会議システム追加整備業務委託 4,686,000円	避難所において新型コロナウイルス感染症対策を実施できるよう、必要な資材を購入した。また、庁舎内感染症対策としてパーテーションをはじめとした資材を購入したほか、リモート会議に対応するためテレビ会議システムを増設した。	避難所開設時に間仕切りや換気設備等を活用することで、災害時においても感染症対策に配慮した避難所運営をすることができた。 庁舎においても飛沫防止パーテーション等を活用することで感染症対策を十分に施して業務を継続することができ、感染拡大の防止と住民の安全安心を確保を達成した。 さらに、テレビ会議システムの追加整備により、三密を避けて会議や住民向けの研修会を実施することができた。 ○執行率 100%
3、20	ひとり親家庭への特別支援給付金給付事業	子育て支援課	46,712		46,712			○児童扶養手当受給者への特別支援給付金 42,400,000円 ○ひとり親世帯臨時特別給付金 3,400,000円 ○ひとり親家庭への特別支援給付金 870,000円	経済的な負担と心身への負担が大きいひとり親世帯に対して、迅速かつ確に給付金を支給することで、生活の安定を図った。 ○児童扶養手当受給者への特別支援給付金 支給件数:4,242件(世帯ごとに10万円) ○ひとり親世帯臨時特別給付金 支給件数:68件(世帯ごとに5万円) ○ひとり親家庭への特別支援給付金 支給件数:12件(世帯ごとに5万円 第2子以降1人につき3万円加算)	子育てと仕事をひとりで担う低所得者のひとり親世帯に給付金を支給することにより、コロナ補での収入減少による経済的不安の軽減を図ることができた。また、臨時特別給付金や特別支援給付金を支給することにより、幅広いひとり親への支援を行うことができた。 ○執行率 99.64%
4、24、31、42	新型コロナウイルス感染症対策事業(保健衛生総務費)	健康医療対策課	27,002	400	26,602			○除圧式エアータン等購入費 9,064,946円 ○クリーンパーテーション購入費 405,350円 ○防護服等購入費 9,243,182円 ○自動遠伝子検査装置購入費 4,394,500円 ○自動遠伝子検査装置接続費補助 1,320,000円 ○体温検知器購入費 2,173,600円 ○外来検査センター開設準備経費 400,180円	○外来患者の検査・医療体制の充実を図るため、除圧式エアータンを購入し、浜田医療センターへ無償貸付をした。 ・除圧式エアータン・発電機等 ○休日応急診療所の医療従事者を感染症から守るため、クリーンパーテーションを購入した。 ・クリーンパーテーション一式 ○医療従事者等を感染症から守るため、防護服等を購入した。 ・ガウン、マスク、手袋、消毒液等 ○感染の疑いがある人の早期に検査が実施できる「遠伝子検査装置」を購入し浜田医療センターへ無償貸付をした。 浜田医療センターに対しオンライン接続費用の補助も行った。 ・遠伝子検査装置(PCR検査) 1台 ・接続費補助 一式 ○イベントや会議で使用する体温検知器を購入した。 ・健康医療対策課 4台 ・水産振興課 1台 ・文化振興課 2台 ・生涯学習課 1台 ○外来検査センターの開設準備を行った。 ・照明機器の取替、カーテン設置等	・浜田圏域の中核病院であり、また島根県感染症指定医療機関として帰国者・接触者外来を設置している浜田医療センターに対して、除圧式エアータン及び遠伝子検査装置を貸与することにより、新型コロナウイルス感染症にかかる患者受け入れ体制の拡充及び迅速な確定診断が行える環境整備が図れた。 ・発熱外来の対応が難しい市内医療機関に対しては、外来検査センターを開設し、検査を代わりに行うことで、受け入れ体制の整備に努めた。 ・浜田市が直営で開設している休日応急診療所及び国保診療所においては、クリーンパーテーション及び防護服等の購入を行い、医療従事者等の感染防止が図れた。 ・浜田市で開催するイベントや会議、公的施設で使用する体温検知器を購入し、広く活用することで感染症拡大防止につながった。 ○執行率 87.8%
5、6	新型コロナウイルス感染症対策事業(児童措置費)	子育て支援課	8,945		8,945			○給食費補助事業 3,017,883円 ○浜田市空気清浄機設置事業 5,927,000円	○給食費補助事業 ・市内保育所等は施設を通じて助成 28施設 ・市外保育所等は保護者に直接助成 7人 ・補助率 10/10 ○浜田市空気清浄機設置事業 空気清浄機未設置の保育室への空気清浄機設置費用の助成を行った。 ・保育所等10施設、認可外保育所1施設 ・補助率 3/4 上限500千円(1室)	○給食費補助事業 市から登園自費申請した期間について、給食費を日割りで軽減し、児童の保護者の負担を軽減するとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に寄与した。 ・市内保育所等は施設を通じて助成 28施設 ・市外保育所等は保護者に直接助成 7人 ○浜田市空気清浄機設置事業 市内保育施設29施設中設置を希望した16施設全てに助成を行い、感染症対策を図ることができた。
7、8、27	新型コロナウイルス感染症関連経営支援事業(商工総務費)	商工労働課	130,621		130,621			○事業者支援相談窓口設置経費 3,347,646円 ○新型コロナウイルス感染症対策資金融資信用保証料補助金 580,359円 ○新型コロナウイルス感染症緊急対策家賃補助金 57,693,400円 ○中小企業者等応援給付金 69,000,000円	新型コロナウイルス感染症の発生に起因して創設された県制度融資を利用した中小企業者等に提供する信用保証料の補助及び新型コロナウイルス感染症の影響により売上高が減少した事業者に対して家賃補助、応援給付金の支給を行った。また、2名専属職員を配置し、事業者向けの相談窓口を設置した。 ○事業者支援相談窓口設置経費(事務員2名) ・相談窓口対応件数 1,810件 ・執行額 3,347,646円 ○新型コロナウイルス感染症対策資金融資信用保証料補助金 ・交付件数 7件 ・執行額 580,359円 ○新型コロナウイルス感染症緊急対策家賃補助金 ・交付件数 380件 ・執行額 57,693,400円 ○中小企業者等応援給付金 ・交付件数 2,411件 ・執行額 69,000,000円	○事業者支援相談窓口設置 相談窓口の開設により、給付金の申請・支払いがスムーズに行えた。 また、国の助成制度等も案内することもでき、事業者の支援に繋がった。 ○新型コロナウイルス感染症対策資金融資信用保証料補助金(執行率99.8%) 保証料の補助により、市内事業者の資金繰り支援に繋がった。 ○新型コロナウイルス感染症緊急対策家賃補助金(執行率99.9%) 家賃最大3か月分を補助することにより、市内事業者の事業継続等の支援に繋がった。 ○中小企業者等応援給付金(執行率100%) 市内中小企業者等の事業継続の下支えに寄与した。
9、37、38、39	新型コロナウイルス感染症関連経営支援事業(商工総務費・国補正分)	商工労働課	139,468	104,601	34,867			○商業・サービス業感染症対応支援補助金 139,468,000円	国の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策を受けて、感染拡大防止対策や事業継続のための新事業展開に取り組む事業者に対して補助を行った。 ○商業・サービス業感染症対応支援補助金 ・交付件数 356件 ・交付額 139,468,000円	99.6%の執行率となり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止や事業継続の支援に繋がった。
10、28	新型コロナウイルス感染症関連経営支援事業(観光費)	観光交流課	50,961		50,961			○新型コロナウイルス感染症対策支援補助金 25,867,000円 ○観光事業者応援給付金 22,510,000円 ○海水浴場支援事業補助金 2,583,700円	○新型コロナウイルス感染症対策支援補助金 宿泊施設、旅行業者、バス・タクシー事業者、飲食店が感染拡大防止を目的として実施する消毒・除菌対応等の安全対策に係る経費の一部を補助 ・感染症総合対策支援事業 136件 9,476,500円 ・飲食店パーテーション設置促進事業 186件 16,390,500円 ○観光事業者応援給付金 令和2年3月から6月までのいずれかの月の売上が前年同月比70%以上減少(神楽産業については、令和2年3月から12月までのいずれかの月の売上が前年同月比50%以上減少)した宿泊施設、観光バス事業者、旅行業者等に対し、部屋数や従業員数等に応じて給付金を支給(上限100万円) ・観光事業者等応援給付金 33件 18,010,000円 ・神楽産業(対象事業者拡充) 8件 4,500,000円 ○海水浴場支援事業補助金 海水浴場における新型コロナウイルス感染症対策を講じる者に対し費用を補助 3件 2,583,700円	○新型コロナウイルス感染症対策支援補助金(執行率:100%) 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施する観光事業者等に補助金を交付することで、直ちに必要な衛生用品や空気清浄機などの購入を促進するとともに、経費負担の軽減を図ることができた。また、飲食店でのパーテーションの設置により感染リスクの軽減と店舗等を利用される方の安心感の向上に寄与した。 ○観光事業者応援給付金(給付率:100%) 新型コロナウイルス感染症の影響により売上高が著しく減少した観光事業者へ給付金を交付することで、疲弊する観光関連事業者の事業継続と雇用維持の一助となった。 ○海水浴場支援事業補助金(執行率:100%) 海水浴場において新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施する者(浜田市観光協会、自治会他)に補助金を交付し、感染リスクの軽減と利用者の安心感の向上に寄与した。
11、33	浜田プレミアム付き飲食・宿泊応援チケット発行事業	観光交流課	34,906		34,906			○浜田プレミアム付き飲食・宿泊応援チケット発行事業補助金 34,906,497円	飲食店、宿泊施設の支援として、1冊6,000円の応援チケットを5,000円で販売 <第1弾> ・販売、利用期間 令和2年7月8日～令和3年1月7日 ・発行冊数 10,000冊 ・換金実績 59,279,500円 <第2弾> ・販売、利用期間 令和2年11月1日～令和3年5月10日 ・発行冊数 15,000冊 ・換金実績(令和2年度事業分) 65,987,500円	換金率は85.1%(第1弾)、99.1%(第2弾)となり、プレミアム付き商品券の発行による需要喚起が十分に行われ、新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少していた市内の飲食、宿泊事業者の支援はもとより、地域経済の維持と活性化に寄与した。
12	Welcome浜田商品券発行事業	観光交流課	42,398		42,398			○Welcome商品券発行業務委託 40,021,682円 ○広告料 1,525,500円	浜田市内に宿泊した市外の旅行者(観光客等)に対し、浜田市内で使用できる共通商品券「1人2,000円」を贈呈(20,000人、配布期間 令和2年10月16日～令和3年3月15日) ・配布件数 19,945件(39,892枚) ・利用実績 38,431枚(38,431,000円)	換金率は96%となっており、宿泊者に対してWelcome商品券を配布し、宿泊者の消費喚起を促したことで、新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少していた市内の飲食、宿泊事業者はもとより、観光関連事業者(小売り、ガソリンスタンド、その他サービス業など)を含めた地域経済の維持と活性化に寄与した。
13	新型コロナウイルス感染症対策事業(常備消防費)	警防課	1,239		1,239			○感染防護衣等購入費 1,239,051円	新型コロナウイルス感染拡大による救急需要増大を想定し、隊員の感染症対策として感染防護衣等を購入した。	○地方創生臨時交付金執行率99.9%、事業執行率100% 救急隊員等出勤時の新型コロナウイルス感染症対策を図り、現場活動に直結する物品や装備を維持することができ、安全な業務遂行が可能となり、住民サービスの低下を防ぐことができた。
14	新型コロナウイルス感染症対策準要保護世帯支援事業	学校教育課	9,173		9,173			○新型コロナウイルス感染症対策事業(就学援助費・市単独分) 9,173,000円	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により実施された、小中学校の臨時休業により、給食が提供できなかった期間の昼食代相当額を援助した。(1食あたり500円) ○3月分 準要保護児童生徒分(819人) 5,133,000円 ○4・5月分 準要保護児童生徒分(803人) 4,040,000円	未来学校給食費全額が援助される準要保護世帯に対して給食費相当額として昼食代を支給することにより、小中学校の臨時休業による昼食代等の家計負担を軽減することができた。 ○執行率:96.4%

実施計画掲載No.	事業名	担当課	決算額(千円)	財源内訳				主な経費	事業実績	成果・効果検証
				国県支出金	地方創生臨時交付金	その他	一般財源			
18	新型コロナウイルス感染症対策地域公共交通事業者支援事業	まちづくり推進課	5,676		5,676			<p>○新型コロナウイルス感染症対策地域公共交通事業者支援給付金 外出自粛等の影響により、大きな影響を受けている市内の交通事業者に対し、給付金を支給した。 (バス：50,000円/台、タクシー：30,000円/台)</p> <p>・バス事業者 2社 1,950,000円 ・タクシー事業者 11社 3,660,000円</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対策公共交通特別支援事業補助金 新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が著しく減少する中、住民生活を支えるため一定の事業継続が求められる場合バス事業者に対して、運行経費の一部を支援した。 ・石見交通株式会社 66,000円</p>	<p>外出控えによる公共交通への需要減少の中、事業者の事業継続と市民の移動手段の確保と安定化に繋がった。 乗合バス事業者に対して、運行経費の一部を補助することで事業継続に繋がった。 ○執行率：100%</p>	
21	妊婦特別支援給付金給付事業	子育て支援課	22,258		22,258			<p>○役員費 58,000円 ○扶助費 187人×100,000円=18,700,000円(100%給付) ○扶助費 妊婦 34人×100,000円=3,400,000円(100%給付) 多胎児 2人×50,000円=100,000円(100%給付)</p>	<p>コロナ禍での心理的不安や、お産にむけての経済的な負担が大きい妊婦に対し給付金を給付することで生活の安定を図るとともに、多胎児における妊婦の身体的・精神的・経済的不安の軽減を図った。</p>	<p>○妊婦特別支援給付金給付事業(給付率100%) コロナ禍での心理的不安や、お産にむけての経済的な負担が大きい妊婦に対し給付金を支給し、生活の安定や身体的・精神的・経済的不安の軽減を図ることができた。</p>
25	総合福祉センター管理事業	地域福祉課	798		798			<p>○新型コロナウイルス感染症対策経費 798,208円</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、入館管理の強化及び貸室の除菌清掃を実施した。</p>	<p>対象施設におけるクラスター発生件数が0件であり、利用者の感染リスクの低減が図られた。</p>
25	総合福祉センター浴場開放事業	地域福祉課	285		285			<p>○新型コロナウイルス感染症対策経費 284,680円</p>	<p>自宅に入浴設備のない者に対して入浴機会の確保を図った。 新型コロナウイルス感染症対策として、除菌清掃業務の強化を行った。</p> <p>○利用実績(年間) ・延べ人数 2,040人(男性1,211人、女性829人) ・開設日数 137日</p>	<p>対象施設におけるクラスター発生件数が0件であり、利用者の感染リスクの低減が図られた。</p>
26	新型コロナウイルス感染症関連経営支援事業(水産業総務費)	水産振興課	33,350		33,350			<p>○水産加工事業者等応援給付金 33,350,000円</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、売上が減少している水産加工事業者や鮮魚仲買事業者に対して事業規模に応じた応援給付金を支給し、事業継続及び雇用維持を支援するとともに、浜田漁港産の水産物の流通拡大を図った。 ・水産加工事業者 33件 ・鮮魚仲買事業者 19件</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響による全国的な外食産業や旅館業などの消費の落ち込みに伴い、業務用商材の受注の減少や中央市場への出荷の減少、市場価格の下落により、水産関連事業者の経営が厳しさを増す中、給付金の交付については、事業継続に向けた事業者支援に繋がった。 ○補助金執行率 83.4%</p>
29	高速情報通信基盤整備基金積立金	政策企画課	222,198		222,198			<p>○基金積立金 222,198,438円</p>	<p>令和4年度に行う宅内工事(ケーブルテレビ光回線化)の財源として、基金の積み立てを行った。</p>	<p>令和4年度の宅内工事(ケーブルテレビ光回線化)の財源として基金を造成し積み立てることで、新型コロナウイルス感染症感染拡大により必要性が高まっているテレワーク・在宅学習等の円滑化に向け、計画的に臨時交付金を活用することができた。 (積立金以外の事業費は次年度に繰越)</p>
30	保育所等従事者応援協力金給付事業	子育て支援課	35,072	17,686	17,386			<p>○報償金等 6,050,000円 ・児童クラブ 4,650,000円 ・市立幼稚園 950,000円 ・病後児保育室 150,000円 ・休日保育 300,000円 ○負担金補助及び交付金 29,021,813円 ・児童クラブ 2,600,660円 ・保育所等 26,421,153円</p>	<p>新型コロナウイルス感染症による全国に発出された緊急事態宣言期間において、預かり等が必要な子どもに対応するための事業を継続した保育所・児童クラブ等に従事した職員に対し慰労を目的とし、一律50,000円の応援協力金を支給した。 ・負担割合 県1/2・市1/2(休日保育は県10/10) ・支給対象者 791人 (児童クラブ 145人、保育所等528人、市立幼稚園19人、病後児保育室3人、休日保育6人)</p>	<p>対象者全員に協力金を支給し、緊急事態宣言期間における業務継続を慰労することで、コロナ禍の職員のモチベーション維持につながった。</p>
32	遠隔医療体制整備事業	健康医療対策課	3,153		3,153			<p>○Lまね医療情報ネットワークシステム購入費 2,871,660円 ○WEB会議用備品購入費 281,226円</p>	<p>各診療所等にセキュリティが確保された医療情報ネットワークシステムを構築することにより、医師などの専門職が離れた場所から医療情報の交換等ができる環境を整備した。</p>	<p>医療情報ネットワークシステムを構築したことで、非接触での医療情報の交換ができるようになったほか、会議などもリモートで行うことで、感染症拡大防止に努めた。 ○執行率 89.2%</p>
34、49、50	児童生徒1人1台端末整備事業(国補正分)	学校教育課	188,075	95,566	92,509			<p>○GIGAスクールサポーター業務委託料 2,178,000円 ○児童生使用、指導者用端末購入経費 151,150,659円 ○Webカメラ・マイク一式購入 646,250円 ○大型提示装置、実物投影機購入経費 34,100,000円</p>	<p>国の新型コロナウイルス感染症対策を受けて、児童生徒1人1台端末整備及び活用準備に係る整備を行った。 ○GIGAスクールサポーター業務委託 1人(4か月) ○児童生使用、指導者用端末購入 3,649台 ○Webカメラ・マイク一式購入 25式 ○大型提示装置 93台 ○実物投影機購入 108台</p>	<p>児童生徒1人1台端末環境のハード・ソフト面の両方の整備が進んだことにより、学級閉鎖や新型コロナウイルス感染症等で欠席した児童生徒がオンラインで授業を受け、オンラインで課題の配布・提出ができるようになり、新型コロナウイルス感染症による児童生徒の学習への影響を低減することができた。</p>
36	町内回覧板作成事業	総務課	1,188		1,188			<p>○回覧板作成委託料 1,188,000円</p>	<p>浜田市からの行政情報を市民へ周知する手段として回覧文書を活用しているため、回覧文書を町内回覧する際に必要となる回覧板の作成を行った。これにより、町内集会開催回数も減り、感染予防が図られた。また、回覧板には感染症対策も掲載し周知が図られた。 ○作成枚数 3,000枚</p>	<p>回覧板を作成したことにより、町内集会開催回数も削減され、また、作成した回覧板へは、新型コロナウイルス感染症感染対策を掲載したことにより、感染予防がより一層図られた。 ○作成枚数 3,000枚(577町内へ2,995枚を配布 ※市役所本庁、各4支所計5枚を除く)</p>
40	インフルエンザ予防接種費用助成事業	健康医療対策課	81,857		81,857			<p>○予防接種扶助費 81,857,160円</p>	<p>季節性インフルエンザの発症率を下げるとともに、発熱等による医療現場の混乱を回避するため、インフルエンザ予防接種の費用助成を行った。 ○インフルエンザ予防接種接種者数 ・1歳～小学6年生(1回目) 3,953人 ・1歳～小学6年生(2回目) 3,542人 ・中学1年生～64歳 16,889人 ・65歳以上 15,577人</p>	<p>1歳以上の全市民を対象にインフルエンザワクチン予防接種費用の助成を行ったことにより、新型コロナウイルス感染症と同様のかぜ症状を呈するインフルエンザの流行を最小限に抑え、医療現場の混乱の回避に努めた。 ○執行率 100.0%</p>
41	新型コロナウイルス感染症対策各種教育・教習機関支援事業	まちづくり推進課	1,140		1,140			<p>○新型コロナウイルス感染症対策各種教育・教習機関支援事業補助金 1,139,600円</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を目的に、市内の専修学校及び各種学校等が実施する安全対策に係る費用の一部を補助した。 ・浜田医療センター附属看護学校 39,600円 ・リハビリテーションカレッジ島根 300,000円 ・はまた自動車教習所 800,000円</p>	<p>学校等による新型コロナウイルス感染拡大防止対策の一部を支援し、安全で安定的な教育・郷愁環境整備の確保に繋がった。 ○執行率 99.96%</p>
44、51、52	新型コロナウイルス感染症対策事業(学校保健費・国補正分)	学校教育課	32,580	13,873	13,207	5,500		<p>○マスク 1,268,000円 ○アルコール消毒液・非接触型体温計 1,935,560円 ○耳鏡、鼻鏡等保健備品 1,754,560円 ○水道蛇口(小・中・幼) 3,134,065円 ○オートクレーブ 3,630,000円 ○空気清浄機 2,599,410円 ○スポットクーラー 8,360,000円 ○備品・消耗品購入(学校) 9,897,987円</p>	<p>国の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策を受けて、小中学校における集団感染のリスクを下げるため、布製マスク等を購入した(国1/2補助)。 また、国の新型コロナウイルス感染症対策を受けて、学校施設における集団感染のリスクを下げるために、良好な授業環境の整備に係る備品・消耗品を購入した。</p>	<p>基本的な感染対策に必要な衛生用品(マスクや消毒液等)や消毒・換気等に有効な備品を購入し、小中学校における感染症対策の徹底を図ったことにより、集団感染のリスク低減を図ることができた。 ○小中学校におけるクラスター(令和2年度) 0件</p>
合計			1,165,130	232,126	927,504	5,500	0			

※ 令和2交付限度額 1,854,369千円 - 令和2年度充当額 927,504千円 = 926,865千円 は令和3年度に繰越